

三草小学校：地域の活用希望案

	地区	活用範囲	活用内容	活用頻度・組織体制・費用負担等	その他意見	意見（メリット・デメリット）	活用頻度	管理運営体制
三草小学校	上福田地区	運動場、トイレ	スポーツ少年団の練習、対外試合（土日） 各団体によるゲートボール、グラウンドゴルフ（平日） 災害時の一時避難所、自衛隊、消防、警察等の展開地や災害物資受援場所として使用	所有者は市とし、光熱水費等は市が負担。除草等は地区やスポーツ少年団が実施可能。	民間事業者への転売により太陽光発電や残土処分場などに利用されるのは困る。県や市の公共施設などで活用してほしい。			
	個人	施設、土地すべて	三草茶テーマパーク事業 ・茶畑を茶摘み体験、勉強会、情報発信 ・三草茶café ・図書室開放による自習やスポーツなどの活動	維持管理費は市が負担。自治会からの寄付やクラウドファンディングの活用	子供たちの自主性を重視してほしい。			
	個人	運動場、トイレ	スポーツ少年団の練習、対外試合（土日）	掃除、整備はスポーツ少年団で実施。				
	個人	施設・土地すべて	子どもからお年寄りまで集まれるカフェのような場所、みんなの居場所として活用 ・三草茶を使ったカフェ ・三草茶の商品開発 ・地元野菜や特産物の販売 ・子ども商店街（着れなくなった子供服、おもちゃの交換会など） ・教室の貸し出し ・工作などの体験教室やイベントの実施 ・合宿など宿泊施設として活用	市、一般企業、住民が企画運営に関わる 子どもも一緒に考える	小学校らしさをを残すことが成功の鍵			

民間事業者の提案

	提案者	活用範囲	提案内容	提案がもたらす効果	その他（課題等）
三草小学校	民間事業者	施設・土地全部	お茶の栽培をメインとした複合施設 ・茶畑を活用するとともに、栽培面積を拡大し、「三草茶」の名を残しながら「かとう茶」としてリブランディング ・野菜の栽培（野菜工場）及び加工施設 ・飲食店のセントラルキッチンとして活用するとともに各種体験教室の定期的な開催 ・料理教室、絵画教室 ・IOT活用起業家やクリエイターをターゲットにしたコワーキングスペース ・元プロ野球選手による少年野球教室の開催	・三草茶のリブランディングにより、加東市の特産品にする ・野菜の栽培、加工により農業の振興に寄与 ・体験施設として集客することで交流人口増加 ・少年野球教室の継続開催により野球技術向上 ・コワーキングスペースの提供による起業家の集積 ・地元雇用の創出 ・市外からの移住定住の促進	・市による経済的支援があると進めやすい
三草小学校	民間事業者	施設・土地全部	放課後等デイサービス事業、生活介護事業、就労支援B型事業を行う地域に開かれた福祉事業所 地域にとって身近な複合施設 ・地元企業の商品販売 ・地元野菜販売所やかとうファーマーズマルシェなどの開催 ・体育館解体後、東屋建築により、日よけ、野菜売り場などに活用 ・茶畑の栽培、地域住民とともに茶摘み体験 ・地域住民への定期的な活動報告及び意見交換の場の積極的な開催	・地域イベント、少年野球及びこどもの遊び場として運動場を開放 ・災害時に避難所として施設を開放 ・災害時に備蓄品等を提供 ・地元商品の販売や販売所の提供、かとうファーマーズマルシェなどの開催による地域振興 ・体育館解体後、東屋建築により、日よけ、野菜売り場などに活用 ・茶畑の栽培、地域住民とともに茶摘み実施	・市街化調整区域で福祉事業所等の事業が実施できるか ・老朽化が激しい施設の取壊しは市に実施してもらえるか